

e news SEaweEDS No. 11

日本海藻協会ニュース

2009年2月15日

・協会事務局から

1. 年会費納入のお願い

本協会 2009 年度 (2009.1.1. - 12.31.) の年会費 (正会員 30,000 円、準会員 10,000 円) について、会員の皆様にはすでに E-mail でお願いしましたが、3 月 10 日までにお忘れなく納入してください。

2. 会報「海藻資源」の原稿募集

本協会の会報「海藻資源」の原稿を募集します。No.20 は 6 月に発行予定ですので、原稿は 5 月 10 日までに事務局宛にお送りください。

3. シンポジウム等に対する要望をお寄せください

今後のシンポジウムや講演会について、テーマ、講師、開催地などの要望を会員から募ります。提案を事務局宛に積極的にお寄せください。

・海藻関連ニュース

1. 日本藻類学会第 33 回大会 - 沖縄-2009 -

日本藻類学会第 33 回大会 - 沖縄-2009 - が 2009 年 3 月 26 - 29 日に琉球大学(沖縄県千原)で開催されます。詳細は日本藻類学会ホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsp/Welcome.htm> をご覧ください。

2. 平成 21 年度日本水産学会春季大会

平成 21 年度日本水産学会春季大会が 2009 年 3 月 27 - 31 日に東京海洋大学品川キャンパス(東京都港区港南 4 - 5 - 7)で開催されます。参加申込み締切りは 2009 年 2 月 20 日です。詳細は日本水産学会のホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsfs/> をご覧ください。

なお、海藻関係のミニシンポジウム「ノリ病気研究の現状と展望」が 3 月 27 日午後に予定されています。

3. 海の森づくり第3回こんぶサミット（日本海藻協会後援）

NPO海の森づくり推進協会主催の海の森づくり第3回こんぶサミット「豊かな海との共生をめざして：海の森づくり こんぶサミットin 壱岐・（青島）・函館・東京・青森・宇和島」が2009年4月～2010年3月に開催されます。現在のところ、4月末に壱岐、5月に中国青島、6月5-7日に函館、9月に東京、12月初旬に青森、3月に宇和島の予定です。詳細は海の森づくり推進協会の横浜事務局（Fax: 045-922-3448, email: shujiro.fujino@mbe.nifty.com）に問合せるか、ホームページ <http://www.kaichurinn.com> をご覧ください。

各地でのシンポジウムその他、オプションツアー（自費参加）

海女の里壱岐の村おこし見学ツアー（壱岐東部漁業協同組合）

中国のコンブ研究・生産拠点見学ツアー（青島海洋大学、中国科学院他）

昆布主産地の現地見学ツアー（昆布の里函館市南茅部、昆布館）

コンブの種苗生産地見学ツアー（青森市水産指導センター）

市民ぐるみ海の森づくり見学ツアー（宇和海に緑を広げ環境を守る会）が企画されています。参加希望者は「海の森づくり推進協会 松田恵明代表理事」（Tel/Fax 018-833-7734）宛にご連絡ください。

4. 第12回マリンバイオテクノロジー学会大会（日本海藻協会協賛）

第12回マリンバイオテクノロジー学会大会が2009年5月30日（土）～31日（日）に早稲田大学大久保キャンパス63号館（東京都新宿区）で開催されます。詳細は大会ホームページ<http://www.waseda.jp/assoc-marine/> または学会ホームページ<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsmb/index.html> をご覧ください。

5. 第9回国際藻類学会議

第9回国際藻類学会議（The 9th International Phycological Congress, IPC9）が2009年8月2-8日にオリンピック記念青少年総合センター（東京代々木）で開催されます。詳細は<http://www.ec-japan.jp/ipc9/index.html> をご覧下さい。

・カレンダー

2009.3.26-29. 日本藻類学会第33回大会（沖縄 琉球大）[Nos.9 & 10]

2009.3.27-31. 平成21年度日本水産学会春季大会（東京 東京海洋大）[Nos.9 & 10]

2009.5.30-31. 第12回マリンバイオテクノロジー学会大会（東京 早稲田大学）

大久保キャンパス) [Nos.9 & 10]

2009.8.2-8. 第9回国際藻類学会議(東京 オリンピック記念青少年総合センター) [Nos.9 & 10]

海藻 Q & A

Q14 - 「鰐浦こんぶ」はコンブですか？

A - 対馬の北端にある鰐浦で漁獲され出荷されている通称「鰐浦こんぶ」は、コンブに似た形をしていますが学術的にはコンブ (*Laminaria*) の仲間ではなくワカメ (*Undaria*) の仲間です。学名はアオワカメ (*Undaria peterseniana*) と言います。コンブもワカメも「褐藻 こんぶ目」の海藻ですが、コンブは「こんぶ科 こんぶ属」に、ワカメは「ちがいそ科 わかめ属」に属します。アオワカメは、中肋に相当する部分が幅広く帯状に厚くなっていますが、葉状部は羽状に分裂せず、孢子葉(成実葉)はなく、子嚢は葉状部の両面に生じます。アオワカメは、北海道南部、本州太平洋岸中部、本州日本海岸、九州、韓国済州島などの沿岸に分布することが知られており、タイプ産地は長崎県五島列島です。(コンブは主に北海道沿岸および本州東北地方太平洋沿岸に分布します。)

これまでのQ & A

Q1 - 「海藻」と「海草」は同じですか。(No.2 に掲載)

Q2 - ノリの「色落ち」って何ですか。(No.2 に掲載)

Q3 - 海藻が多様な色彩を呈するのはなぜか?(No.3 に掲載)

Q4 - コンブやワカメは湯通しするとなぜ緑色になるのか? 焼き海苔はなぜ緑色か?(No.3 に掲載)

Q5 - 海苔が湿気ると赤紫色になるのはなぜか?(No.3 に掲載)

Q6 - テングサという種名の海藻はないのですか?(No.4 に掲載)

Q7 - 「うみぶどう」は海藻の名前ですか?(No.5 に掲載)

Q8 - 「キラー海藻」って何?(No.6 に掲載)

Q9 - 日本の海苔は輸出されていますか?(No.6 に掲載)

Q10 - 「髪菜(はっさい)」は海藻ですか?(No.7 に掲載)

Q11 - 中国で栽培(養殖)されているノリは日本のノリと同じですか?(No.8 に掲載)

Q12 - 「岩のり」と「青のり」は違うものですか?(No.9 に掲載)

Q13 - 「心太」と書いて「トコロテン」と読むのはなぜですか?(No.10 に掲載)

この協会ニュースは、主として会員の皆様からの情報・資料に基づいて、月1回（毎月15日付で）発行されます。情報・資料を下記宛にご提供下さい。

〒101-0031 東京都千代田区東神田 2-1-11 第一坂本ビル 7F

マリン・サイエンス株式会社 内

日本海藻協会事務局

編集者：有賀祐勝（arugay@mx4.ttcn.ne.jp）